真宗大谷派
浄恩寺
LINE　QR コード

令和５年　４月　第４６１号

浄恩寺同朋会報

電話　０５２－８８１－８４７４

前住職の教え子「藤原さん」の御葬儀

法名「慈虹院釋健楽」享年五十二歳
三月に御葬儀を勤めさせて頂きました。

前住職が名古屋市立大生小学校に勤務した時代、一年生から五年生まで担任していた方です。お寺に、ご両親と一緒に遊びに来られたこともありましたので、お名前の記憶が私にもありました。

実は、同じ学級に在籍されていた同級生の方の葬儀も以前に勤めたことがありました。同じダウン症の方でした。

私も父親同様、特別支援学級や養護学校に勤務しておりましたので、その頃の私の思い出をお通夜でお話させて頂きました。

親の会の参列者が大勢みえて、共感して頂けました。親の会のみなさんは、八十歳をこえてみえる方々、お子さんを支え生きることが生き甲斐の方々でした。

まだまだ障害のある方々への理解が浅く、厳しい時代をお子さんと生きてこられた方々だと察します。

しかし、みなさん明るく色々な思い出話を通夜が終わってからもしてみえました。

泣いたり、笑ったり、悩みを分かち合い、成長をたたえあった仲間だからこそ別れの悲しみに寄り添うことができるように感じました。

最後の夜をともに語り合い過ごす。通夜の意義です。ただ読経するだけでは意味がありません。かけがえのない命を看取り、おくることの辛さは同じような経験をされた方々だからこそ、より深く共感ができるのだと思いました。記憶に残る心のこもったお通夜でした。

親鸞聖人生誕八百年と本願寺設立

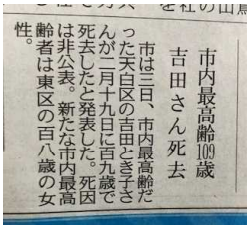
して八百五十年も記念した法要が、３月からお勤めされています。

私も、四月八日土曜日に舞楽「春庭花」の演奏するため参勤します。当日「庭儀」おねりもあり、曲の暗譜に四苦八苦です。

長年に渡って拙寺を支えてくださった、吉田さんと松永さんの遺骨を本堂二階の納骨堂に納めさせていただきました。

永代経法要や報恩講法要で、お説教をこの本堂で聴聞されているお姿が目に浮かび偲ばれます。

南無阿弥陀仏



市内最高齢109歳
吉田さん死去

市は三日、市内最高齢だった天白区の吉田とき子さんが二月十九日に百九歳で死去したと発表した。死因は非公表。新たな市内最高齢者は東区の百八歳の女性。

毎年恒例、「ふくたらの花見」

毎年訪れるのは、名古屋城能楽堂です。今年は、海外からの観光客の方々もけっこうみえました。

ホームグランドの鶴舞公園は人が多すぎるのと、食べ物の食べかすが散乱していて、わんこには危険です。

また、今年は、白鳥公園にたびたび訪れました。静かで桜も綺麗でした。